

ぶらねていずお




カジュアル・ねとられ
LOVE・コメディ!?

母娘で
ネトラレる
見せて・♡
37 / 121
メインCG / ページ

ADULT ONLY
R-18
成人向け





転勤で未だ落ち着かないこの街の暮らし

都会だろうが田舎だろうが
不意に襲われる孤独と不安は
もはや習慣となっていた

そんな感情にすら鈍感になってきたころ
偶然仲良くなった2人暮らしの母娘

退屈な独り身の僕にとって
2人は既にかげがえの無い存在だった

僕は自分の部屋の他に
帰る場所をもう1つ得た…



今日は
ゆっくり
できるの？

裕美さんは僕より年上

旦那さんとは少し前に円満に別れたらしい
おっとりした性格で

包み込んでくるような母性が滲み出していた

隙があるように見えるせいかな

言い寄ってくる男性も多いらしい

パートと家事で忙しい合間をぬって

僕との時間も作ってくれる 理想の女性だ…

娘の名前は咲(さき)

僕は「咲」と呼んでいる

しばしば年の差を飛び越えて

乱暴な物言いもしてくるためか

いつの間にかサキちゃんとは呼ばなくなっていた

おしゃべりが好きで僕とイチヤイチャ

している最中もよく喋っている

部活に遊びに羨ましいほどの

学生ライフを満喫している

最近忙しいの？

もつとかまってよー



ふらねていずお



あ……ちよと……

どうしたの
急に……
ヒサトさん？

いつも当たり前のように
胸に飛び込む僕

すみゅん……

すみゅん……

ああ裕美さん!!
僕寂しかったん
ですよお？

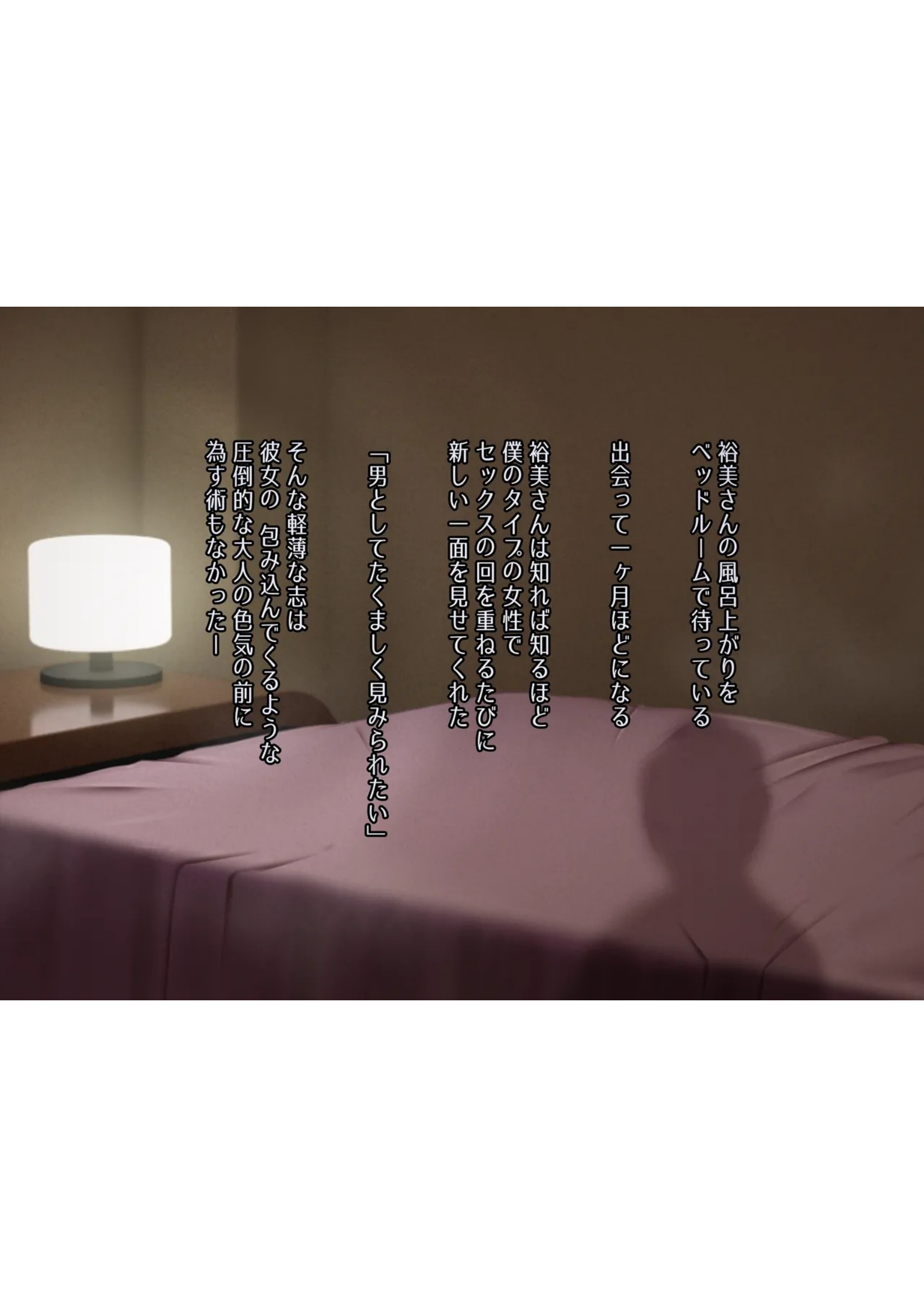
ハッ……

あきれた顔をしながら
それでも優しく
受け入れてくれる裕美さん

…んもおっ
あまえん坊さん
ですネっ♡

夜を待つのが楽しみで仕方ない日々

その日も夕飯を済ませたあと
ゆったりとした時間が流れていたー

A bedroom scene with a bed and a lamp. The bed is covered with a light-colored sheet. A lamp with a white shade is on a table to the left. The background is a plain wall.

裕美さんの風呂上がりを
ベッドルームで待っている

出会って一ヶ月ほどになる

裕美さんは知れば知るほど
僕のタイプの女性で
セックスの回を重ねるたびに
新しい一面を見せてくれた

「男としてたくましく見られたい」

そんな軽薄な志は
彼女の 包み込んでくるような
圧倒的な大人の色気の前に
為す術もなかったー

刺激的なほど華やかに香る
湿気が 薄暗い部屋に漂うー

身体を拭きながらベッドに
浅く腰掛ける裕美

まだ少し湿った髪が
重く真っ直ぐに降りている

最近 来過ぎ
じゃない？
彼女さん
怒ってるよきつと…

だからあ…
僕彼女
いないって

交わされるお決まりの会話も
これからの楽しみを
お膳立てしていたー



はやくおっぱい
見せてよお!

急かすの
きりつい

僕ユミさんの
おっぱい好き
なんだよー

そうなの？

あつた...

恥ずかしげもなく
下心のままに
言葉をかける僕

僕はゆっくりパスタオルを
剥き取り 彼女の眩しいほどに
白い肌を頭にさせる
そして押し付けるように
ぴったりと身体を重ねるー





力を込めたり やさしくしたり
何度もなんども 飽きることなく
感触を確かめるー

はま

はま




ポフ...

あや♡

もてあますほど豊かな胸を
叱られるまで 楽しむー

もう
ヒサトさん
やりすぎ





気がつけば夢中で
裕美さんの身体に腰を
打ちつけているー

乱れきった髪で
小さく声を漏らす…

…もう…イキたい…

こうして夜を一緒に
過ごしてくれる
この人がいるだけで
僕の人生 この先
どう転んでも
幸せだと思った

深く 忙しく動くために
僕は彼女の腕をとるー



あつ…い
ついで…
突いてっー

はあ

はあ

ああ…
…イってる…
いっくっー！

ギン

ギン

1P
1/2

1P
1/2



先にシャワー
あびてね…

そろそろ
咲が帰る
頃だしー

夕飯支度
しないと…

ふと彼女が
これだけ男の扱いに
慣れていることに
不安を覚えるー

僕は彼女を
自分だけの
ものにしたいと
思い始めていた…



「ただいま」
「おかえりなさい」

音程の取れない鼻歌を
遠くに聞こえる会話が
遮った：

娘の咲が学校から
帰ってきた



母は家事

娘は遅い帰りで

疲れているだろう

ここにいる誰より

一番風呂に相応しくない人間が

湯を濁していることに今更

恐縮し 気配を隠すように

身を潜めていた…

チャッポ

ヒサくん
来てたんだ

おわわ

グ
グ
グ



ワタシも
一緒に
はいろーっと

は…!?
あ…おう…





ふんふん

久しぶり
だね

♪

ぬぎっ...

咲は僕を慕ってくれている

裕美さんとも仲が良く
部活熱心で好きなことにまっすぐ一途
とてもいい娘だ



引き締まった身体に
似つかわしくない 大きな胸と尻

目のくらむようなシルエットを
おもむろに見せつけてくる彼女ー

何事にも旺盛な年頃のせいか
彼女もまた素直に快楽を求めてくる…
僕も戸惑うほどに…

す…



ねえ聞いてー
うちの学校
ヘンタイ教師
いてさー

そいつ
「服装チエックだ」
とが言つて
胸とか尻とか
どさくさまぎれに
触つてくんの…

はあ…!?
そんなやつ
ケーサツに
突き出せよう!

そう思うんだけど
友達も「あんな奴に
もう関わりたくない」
つていつも泣き寝入り

ちきしょー…
ゆるせねーな

咲はよく学校であった
ことを話してくれる

仲の悪い女友達
彼氏とのフレイ
ヘンタイ教師の悪行
テストの成績ー

本人いわくー
僕にその日一日あったことを
知っていて欲しいらしい
とてもかわいく
思える一面だ…

2人で泡だらけになった…

ジャポ……じゅぽ……

いやらしく触らずにはいられない…



フワッ……

咲の素肌を手のひらで滑らせるほどに

身体にチカラがみなぎってくる感じがした……



さわりかた
ヤラしー

しよーが
ないだろ
洗ってん
だから

このまま
H
すん...

ホモ

ぬ
...

.....
!!



ヒサくん
最近ママに
ばっかり
かまってるさあ

!?...そっ...
そんなこと
ないと思う
けど...

だいたい咲
彼氏いるだろ

彼は彼!
ワタシは
ヒサくんと
もっといういる
したいの♡



背中流して
あげるねー

ゴシ

ゴシ

ああ…
ありがとう…





あ…ちょっと
……………!

スグ
スグ
スグ
スグ

ソープランド
みたいだねー





すーい
まだ足りない
って感じじゃん

咲エロいん
だもん…
こうなるだろ
そりゃあ

やったねっ♡



ねえやろうよー
せっかくおふる
なんだから

ねっ

く
い
ゝ

バスマットに手足をつまみ
尻を向ける 咲

感じやすいところだ

よく当たるよう

腰を深く落としている

グイッ

お互い 全身に泡が残っていて
どこに触れても
ぬるぬるとしている

つい尻の肉を強く掴んだ



咲は得意じゃないらしいが
尻肉の内側ではさむのが
好きでついやってしまう

締め付け具合を

加減できるのも良い…

くすぐった…い…
おしりのあな…
恥ずかしいんだけど

あや



刺激の少ないように
ゆっくり亀頭を
挿し込むものー

グ
ン

お
ま
さ

ん
ん

同調してくる咲の動きに
気がつけばリズムよく
ピストンしている





はあ

はあ

はあ

んっ
はあっ……まっ……
んん…イっ…ああ!
♡ ♡

んっ

はあ

はあ

はあ

こんなふうには 暇さえあれば
セックスを繰り返してきた一ヶ月ー

裕美さんと咲と

こんな交わりは
いつしか人の当たり前前になっていた

今日は
ゆっくり
できるの？

そういった関係に少し気が引けはしたが
恋人であり家族でもあるような仲に
この世の全てを手に入れたようで
僕は無我夢中で喜んでいたー



この夢のような生活に
どっぷりと甘んじて

「その日」も娘の咲の求めに応じていたー

ああ♡ そっっ…

キモチィ…

焦らないでっ

やさしく
して♡

せっせと家事をこなす裕美さんに
隠れて 暗い和室で2人
息を殺して楽しんでいた…



ねえ今日は
パイズリして
ほしいなー
なんて…

はあ

はあ

うん…
ちゃんとか
ちんちんと
気持よく
してね！
たしね！
っ

むっ

たっ

むっ

むっ

ちよつと
いつまで
揉んで
くれるの

え？
気がすむ
まで…
…だめ？

まじやあ！

そのとき外で何かが聞こえたー

おた

おた



やめてください！
ケーサツ呼びますよ！

なんだよ
よそよそしい
じゃねーか
俺とアンタの仲
だるーがオイ

…イヤだ
離してっ

あぁっ…

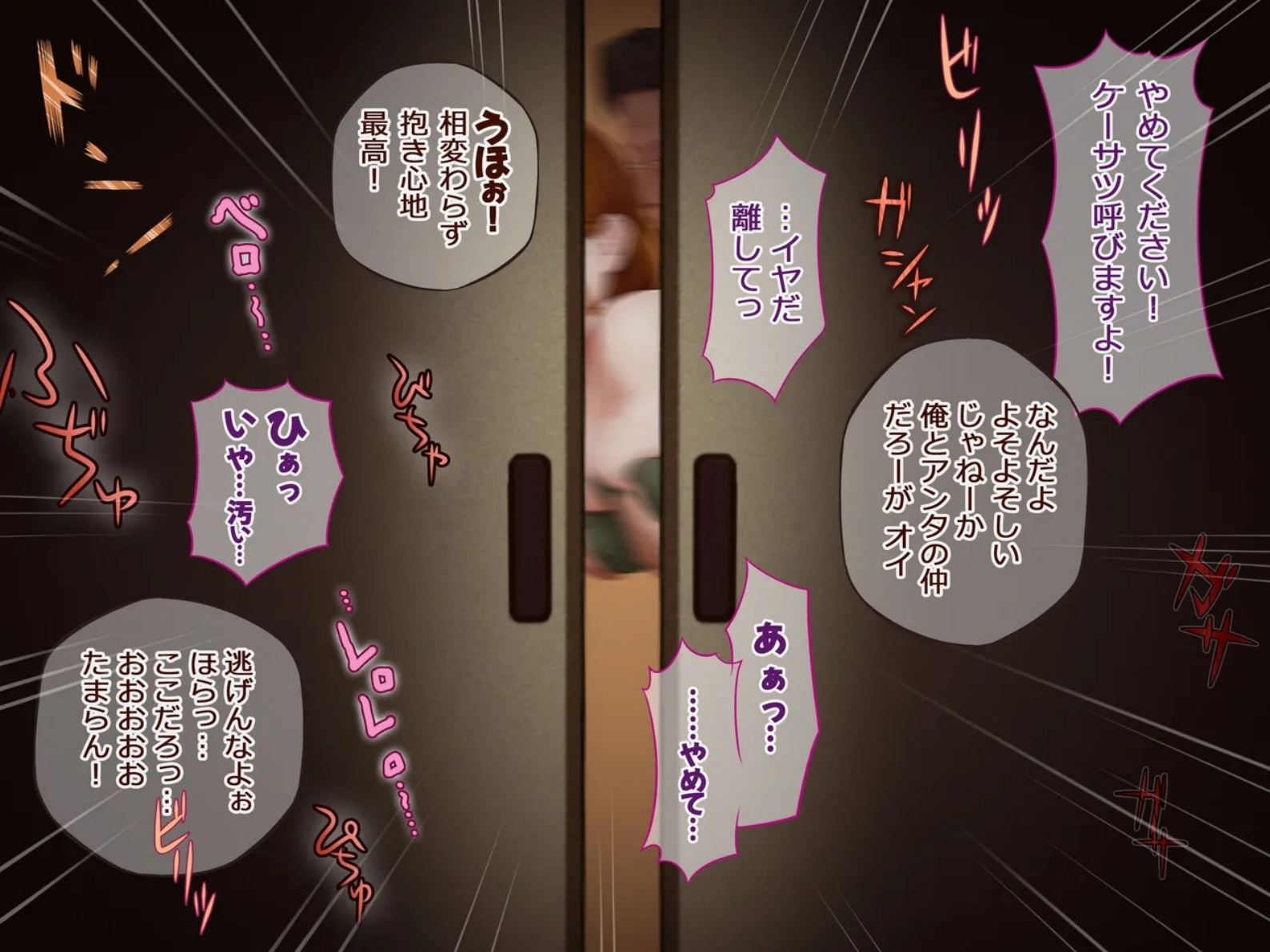
……さめて……

うほぁ！
相変わらず
抱き心地
最高！

べろ…

ひぁっ
いや…汚い…

逃げんなよお
ほらっ…
ここだろっ…
おおおおお
たまらん！



大きな音と悲鳴に一瞬すみあがったが
何が起きているかは わかった

裕美さんが襲われている

男が後ろから覆いかぶさり

裕美さんがそれを振りほどこうと
必死に抵抗している



そのことは漏れ聞こえる音からも把握できた

セックスの只中であつたが僕は

裕美さんを助けるため立ち上がろうとした

しかしあろうことが 咲は それを制止した―



はい
つかまえ
たあ！

むん...

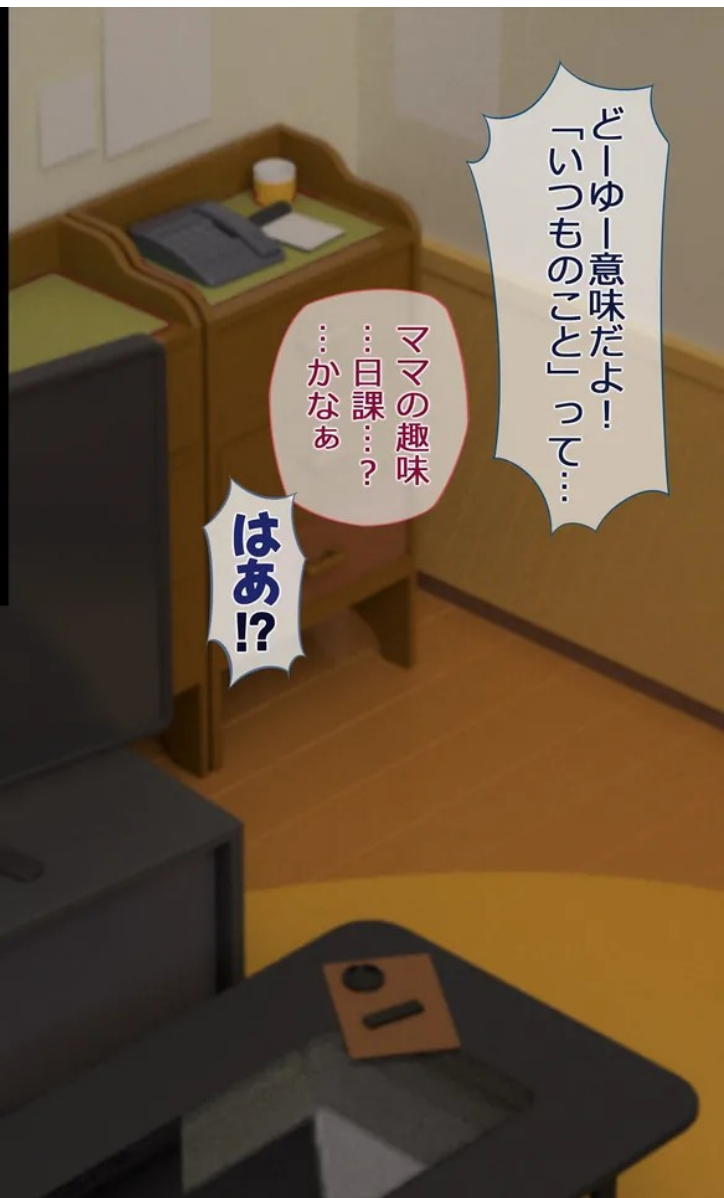


どーゆー意味だよ！
「いつものこと」って…

ママの趣味
…日課…？
…かなあ

はあ!?

ウソだ…
どう見たって
襲われてる
じゃないか…



犯されてる
感じが一番
興奮するん
だって

でも本当の
レイプは
怖いでしょう？

だから適当な
奴見つけて
遊んでんだよ

!?

.....

男はこのマンションの内装修繕を担う
工務店の作業員だったー

ハナからそうだった状況を
求めていた裕美さんは

「初めだけは声を上げ拒絶するが
徐々に抵抗を弱め ときには正直な
反応を見せたりして 最後には
されるがままに 犯されてしまうー」

こういう手合いを見つけては
自ら隙きを見せ欲情させ
「犯される」というシチュエーションを
作り出す…

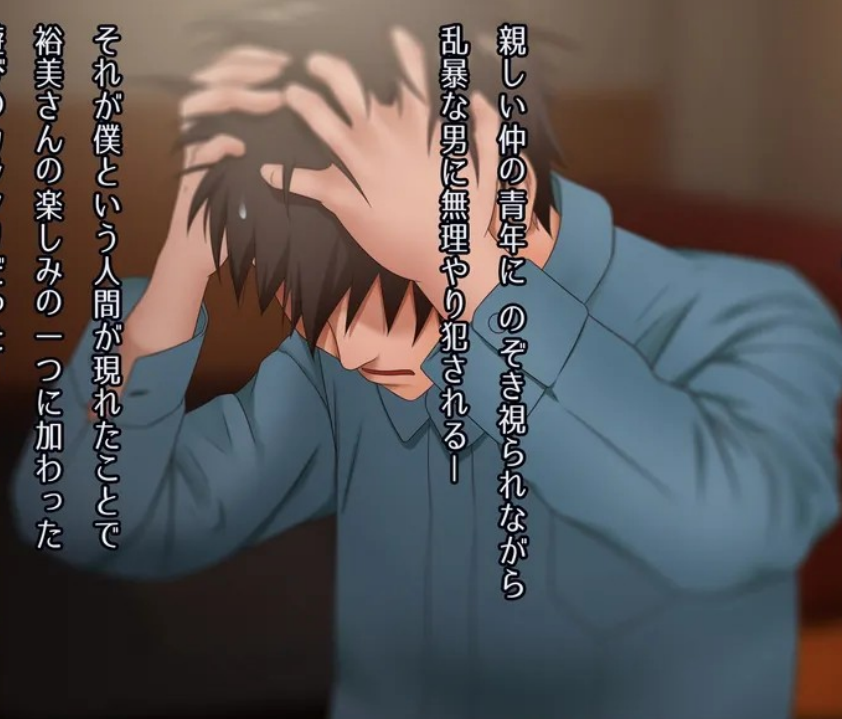
裕美さんはそれをまさに日課としていた…

そんな日常に現れたのが 僕だった

「裕美しほみと咲さきに対して純粋に好意を
寄せる男の役」キャスト

親しい仲の青年に のぞき視られながら
乱暴な男に無理やり犯されるー

それが僕という人間が現れたことで
裕美さんの楽しみの一つに加わった
遊びのカラクリだったー





んんん

んんん

今日はやけた
抵抗する
じゃねーか

そろそろ
仲良く
してくれよう
奥さんよお

ぐんぐん

んんん



はやく見せるよ
ほらあっ

ぐぐぐ...

クク

クク

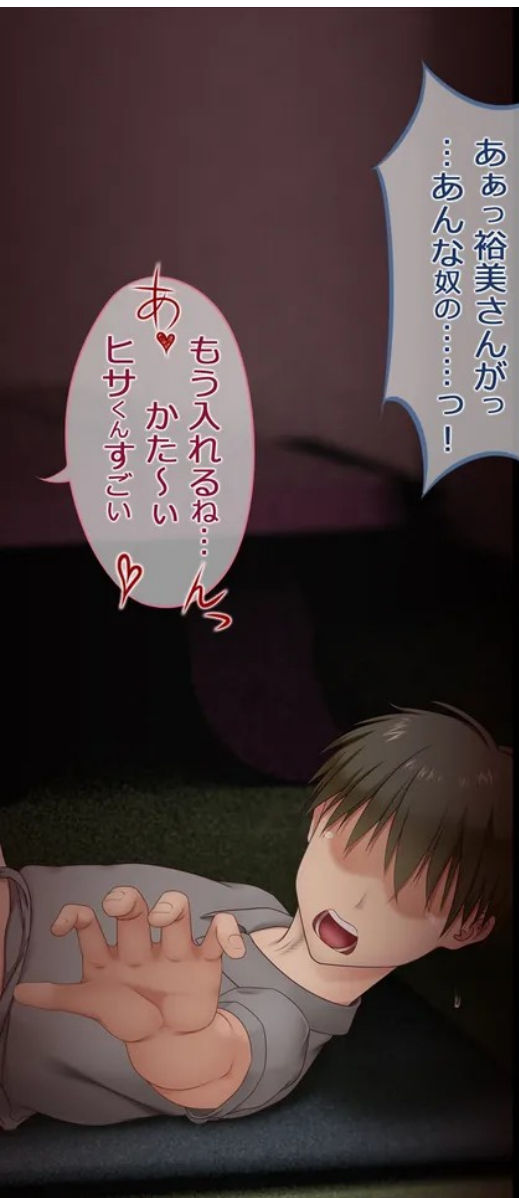
ひ

ほーらあー
お待ちかねだぞ
好みのちんぽ…

…ぐぐぐぐぐぐぐぐ

ズク…





ああっ裕美さんがっ
…あんな奴の……っ！









今日もいい動き
だぜ奥さん……

どこで
覚えたんだ
そんな舌使い

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

ん
っ



うおっおお…
尻の肉が
泡立って
ヌルヌルだぞ…

このまま…ッ
…イケそうな
くらいだっ…

うっ…

ク
ン
ク
ン
ク
ン

ああ



はあはあ

ぐおお
根元まで...
入ったぞ...

...このまま
1発目だな...

ズ

み
み
み







んまっ...あぁっ

あぁっ...ん

ズチユ

ズチユ

ああ...もう
膣内にしちゃった
ごめんゴメン...

づあお

あああ


ギン

ギン

その夜のことー

裕美さんの理解し難い性癖とあるうことか
その状況に官能してしまった自分
僕は隠しきれないシヨックをどうにか
収めようと寝床で悶っていたー

裕美さんは僕の傍らで寄り添いながら
昼の出来事の弁解を始めているー



ごめんなさい
ヒサトさん…
あんな姿を見せて
しまつて——

ワタシあれが
どうしても
やめられなくて

気にしないで
いいよママ
ヒサくんも
けっこう興奮
してたんだよ？

そうなの…？

…そっ…
それは…

わたしとエッチ
しながらずっと
ママのこと見て
ギンっギンで最高
だったんだから

おい！

だからヒサくん
才能あるよお！

なんの才能だよ！

もじ

もじ

どうやら裕美さんには
その遊びをやめる気はなく
1役かっていた咲もそれを
心底楽しんでたのだ

とはいえ こんな華やかな生活を
突然手放せるはずもなく
僕も 何事もなかったように

彼女たちの遊びを傍観する
ようになっていた―

翌日―

この日は 咲と一緒だった
他愛もない話をしながらベッドで2人

年頃の学生の 少し生々しい交友関係などを
聞きながら 確かめるように
互いに肌をなでていた

心地いい背徳感がこみ上げてくる
長い前戯のようなものだった



ふふっ
ヒサくん
あのねー

今日も
かわいいよ
咲……



このあいだ
学校でレイプ
されちゃって
さあ……


……ジヨッ……
じよーだんだろ…!!

お風呂のとき
話した
ヘンタイ教師
だよ

そいつが!?
何でそんな
ことに…!!

学校終わりに
ひと気のない部屋で
彼氏と会ってたの
そしたらあー



A dimly lit room with a dark wall and ceiling. A white light fixture is visible at the top. In the center, there is a dark door with a window above it. To the right, a wooden table and chairs are partially visible. To the left, a stack of brown cardboard boxes sits on the floor next to a whiteboard on a stand.

咲は 放課後になると
離れにある 人目につかない倉庫のような
部屋で 彼氏と好き放題やっていた

動揺を隠しきれない僕をよそに
咲は事細かにその時のことを話し始めたー

今日は
ちよつと
アブノーマル
だねー

おまたせ
♥



僕の知ってる咲の彼氏は
「いけすかないチャラ男」


到底咲とは釣り合わない

あんな奴のどろが良いのかと
常々思っていた

咲ちゃん
はやく〜

けっこう
苦しいよ
この格好…





じゃあ
まず舐めて
あげる〜

はやくうー
もうガッチガチ
だからさあー





んっ…あっ
もっど…
ゆっくりな

はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ

あっ…
まだっ…
まっ…



ぐんぐん

んびっ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ぐお〜!


私たちが やっと静かなところで
2人きりになれたって
安心しきっちゃってて…

そのとき 部屋の戸が開いて
誰かが入ってきたの！

そのヘンタイ野郎がー？

ガラッ



A woman with dark hair, wearing a green short-sleeved shirt with orange floral patterns and tan pants, stands in a room. She is holding a smartphone in front of her face with both hands. To her left is a stack of brown cardboard boxes. To her right is a wooden table and chairs. In the background, there is a dark door with two windows above it. The room is dimly lit, with a light source visible at the top center.

悪い子だね
君たち！
こんな所で

まったく
油断も隙きも
ないね！



僕もまげて
もらうから…

きれいに
撮ってるから
おとなしく
しててよお？

そっ…それで!
すぐに
逃げ出したんじゃ
ないのか!?

彼氏置いてく
わけにも
いかないし…

置いてって
いいんだよ
あんな奴

えーだって
動画撮ってた
みたい
だったしー

だからだよ!
何されるか
わかりきってる
じゃないか!!

そっただけで…
「さへ」スロウムー



ひっ…
イヤだあ

それでそのまま床のマットに
押さえつけられてー

クソ野郎だなそいつ！
…なんとか助けを呼ぶとかは？

抵抗するけど全然だめ

大声だすとか…？

誰もいない離れの校舎だよ？

そうか…

もう私をどうにかするのに

夢中って感じで

結局 身ぐるみ

剥がされていって…

そんなあ…

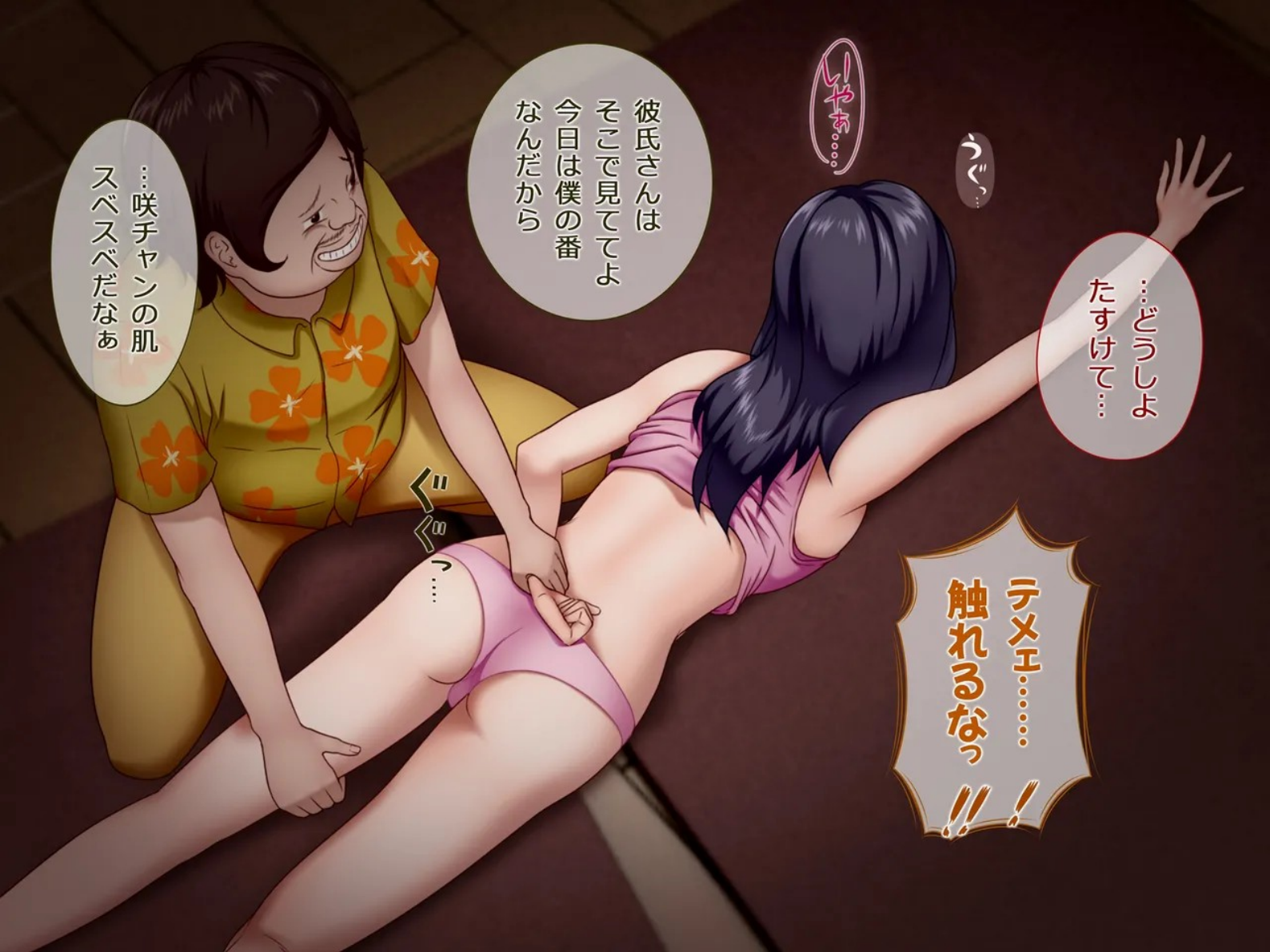
ドクドク

おいっ！
ふざけんなっ
…やめろっ

はなしてっ

咲ちゃん
やっと一緒に
なれるよ…
き・み・と…

………



いっやあ...

うぐ...

...どうしよ
たすけて...

彼氏さんは
そこで見ててよ
今日は僕の番
なんだから

...咲ちゃんの肌
スベスベだなあ

テメエ...
触れるなっ
!!

ぐ
ぐ
ぐ...



ひゃくボクの
大好きな
お尻だあ

コレ…
とっちやお
かな

あいつ…ああいう
ことに使われてる
部屋だって知ってて
待ち伏せしてたん
だと思う…

あそこで
エッチしてた
友達も
いたもん

妙に雰囲気
あるんだよね
……あそこ…

……



それ以上
やってみる……

殺すぞうー!

えく殺すの?…うん
やっちやうっ! ♡

!

○
○
○
○
○
○



あ
ん
ん



ふわああ♥
でてきたあ〜



お尻

バタ

バタ

いざおおお

ぷりぷり
だねっ
咲ちゃん ♡



痛いよ...

ちくしょーっ!
許せねえ...!!

はま

あ〜ん♡

ぐいっ

はま

はま

それからほまつ
されるがまま
って感じて…

オッパイ
見ちゃおう
ねーウへへ…

ゴ

あ

かわいいねえ





ほらあ……

はあ

。。。。

はあ

はあ

でもね……
だんだんなんだか
気持ちよくなつて
きちゃって……

あ……

なんだって!!

はじめは
キモチ悪い
だけだった
けど…

縛られた彼に
見られながら
ヤラれてるのが
なんか……
……良くて……

ヨクテ!!





ゲゲ...

咲ちゃん!!
もう我慢
できなくて
入れちゃっ
たー

ねえちゃん...

ああ

アハッ...
アハハハッ
やったーっ!!

だ



うう…咲い…
ごめんッ…
うう…

大丈夫だよ
やさしく
してるから

あれ…今私
彼の前で
犯されてる…?

あとでお返し
するから
もうちよつと
待っててね…
カレシさん♪

なんだかよく
わかんないけど
すつごく良い…
…コレ…

ズン

あ

すめ

ちよつと待つて…
ヒサくんのお〇んちん
さっきよりすごく
硬くなつてない？

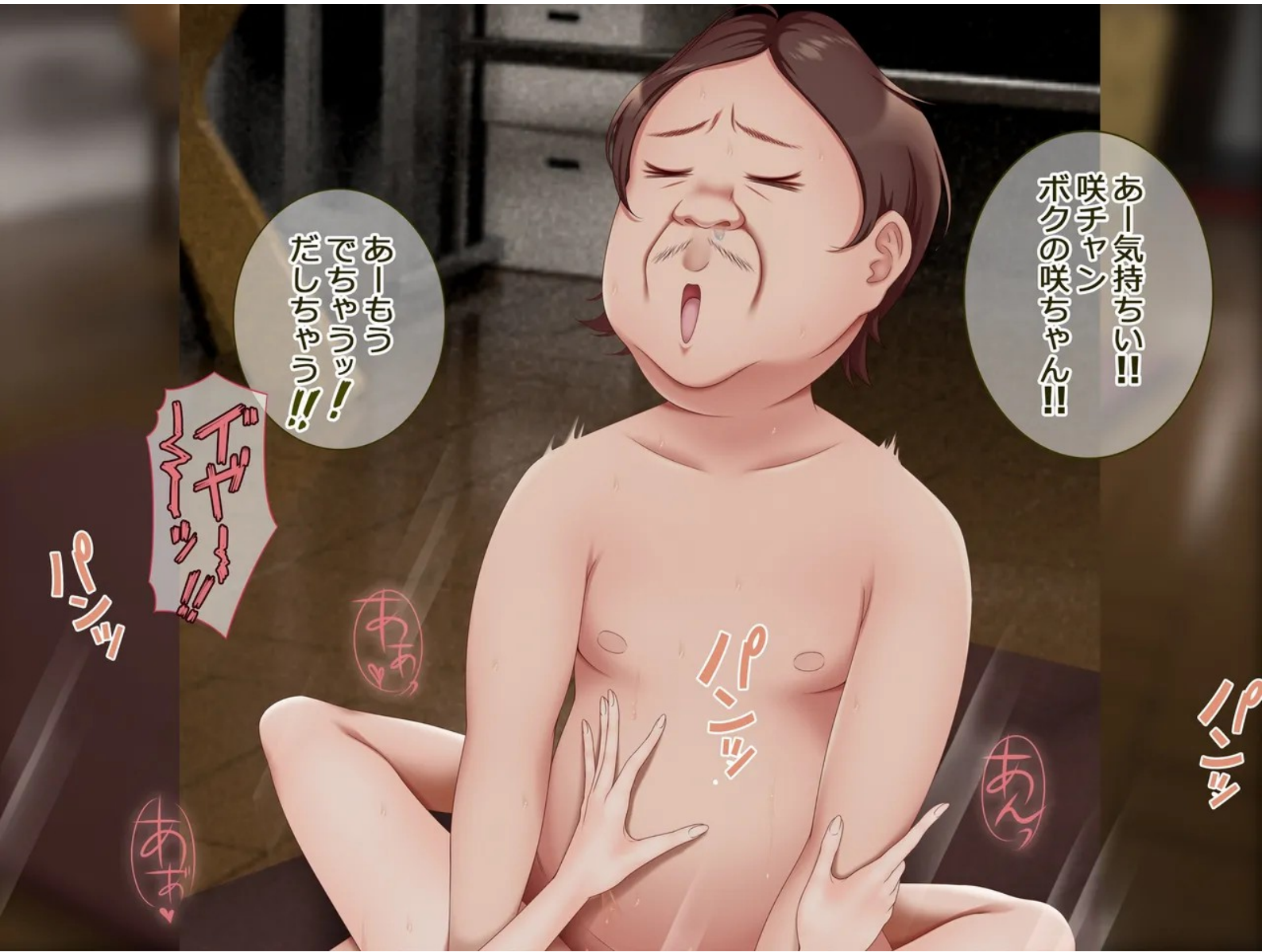
はあ!?
そんなこと
ねーよ!!

ヒサくんも
私が犯された
ことに興奮
してんだよ!
一緒じゃん!!

ちがう!!

ひっどい!!
私がレイプ
されてるのに!!
ヘンタイ!!





あー気持ちいい!!
咲ちゃん
ボクの咲ちゃん!!

あーもう
でちゃうッ!
だしちゃう!!

ズザッ!!

パンツ

あー

パンツ

あー

パンツ

あー

なんでそれで
そんな平気
なんだよ!!

ひゃあ!!

!?

平気じゃ
ないよ!!

でも感じちやつ
たんだから
しょーがない
じゃん!!







あ〜

あ〜

あ〜ん♪
ヒサくんが
私のために
おこつてる
うれし〜い

くそっ!!
ちくしょー!!

ギシ

ギシ

ギシ





…すごいね
咲ちゃん

…やっぱい…
オツサンの
ち○ぽ…
ぶつとい…
どうなってるの
……

奥でびゅーっ
って出て
あふれて
きたよお？

よかったよ
また次も
楽しもうね

はぁ

はぁ

はぁ
はぁ…

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

びく

びく

びく



そんな信じがたい日々はその後も続いたー

裕美さんはその後も
得体のしれない男を
誘い込むことに成功していて
絶好調だ…



相手は誰だろうか…

近所のスーパーの出入り口にある
焼き鳥屋台のおっさんと似ている
気がする…

半端に身近な人間の方が
興奮するんだろう…

あの……
困りますッ……





なにが
困ります
だよお…

…そんな…
激しく…しないで…


おねえさん…
すっげえ良いカラダ
してんねえ…!!

むっ

ちゅぱっ

ちゅぱっ

むっ



仮に彼女たちが犯される姿に興奮したとしても

「怒り 悲しみ 悔しさ」

その瞬間は感情が激しく渦巻いた

レイフの話を聞かされたり

目の当たりにしたときも

そんな記憶や現実を「上書き」して

しまいたいという考えが

僕を燃え上がらせた…そう信じたい

誰より深くつながることで

その「悪夢」を解消しよう…

だらしない不貞を見せられ
僕が怒りをあらわにしても

あら…
ステキ♡

こんなに
ほらっ…

その度に彼女たちは
身をもって僕を慰めた…



でもそれも 今でも続く彼女たちとの
関係の中で

はーん♡
もっともっと！
いっぱい舐めて
いっぱい触って！！
ウマ...



麻痺させられたように
いつしか生活に溶け込んでいった

その頃から彼女たちの振る舞いも
よりいっそう親密になった気がして

アマッ!
ひとりじめ
しないで!
…もうっ…

なんだか本当に受け入れられたようで
少しうれしく思った







僕は明日もその次の日も
この家に帰ってくるだろう

おかえりなさいっ







このたびは本作品をご購入いただきありがとうございました。
お楽しみいただけましたでしょうか。

以前から描きたかったテーマがありました。

- ・本番行為よりもシチュエーションやフェティシズムのシーン
- ・レイプされているため抵抗はするが、簡単に諦めて受け入れてしまう性的なハードルが低く過ぎる女性。
- ・親密な女性がレイプされたことで抱えた悲痛な思いを、女性と激しく交わることで克服し、女性からもその記憶を消し去って互いに回復を図ろうとする男。

主に3人の登場人物を中心にした「ハーレム的世界観の困難」。男にハーレムを許せる女性は、そもそも自分も複数と同時に相手にできる貞操観念の持ち主であるはず。男の「複数の女を独占している」という固着した下心が空回りしていきます。

テンポ重視のため差分は少なめ。紙芝居形式で表現するには制限が多くありましたが、描きたかった世界を半分くらいは描けた気がしています。ご感想を頂ければ幸いです。

製作途中で思い浮かんだ、ハードコアなレイプものや、もっとカジュアルで明るい雰囲気の内トラレも描いてみたいと思っています。次回作をお待ちください。

令和元年10月1日 ぷらねていすむ

